瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2026.10.31時点)

東京電力ホールディングス株式会社
放射性廃棄物処理・処分
2026/11/26

分類		保管場所	保管容量※1	保管量※1	再利用・再使用対象	前回集約からの増減※1	エリア占有率	保管量 / 保管容量※1 割合	トピックス
瓦礫類	屋外集積(0.1mSv/h以下)	A	13,800 m³	6,300 m³	- m³	0 m³	45%	324,000 / 408,500 79%	・主な増減理由 フランジタンク除染作業（エリアAA） 屋外一時保管解消に向けた移動（エリアF、エリアO、エリアe） 屋外一時保管解消に向けた移動（エリアP1、エリアG） 屋外一時保管解消に向けた移動（エリアN） 屋外一時保管解消に向けた移動（エリアBB、エリアDD） エリア整理のための移動（エリアC） エリア整理のための移動（エリアCC） エリア整理のための移動（エリアH、エリアM） ※エリアCの一部の再利用・再使用対象の瓦礫類は、直接工事エリアにて仕分け等を実施している
		B	5,300 m³	5,300 m³	- m³	0 m³	100%		
		C	67,000 m³	54,700 m³	24,200 m³	-400 m³	82%		
		D	2,700 m³	2,600 m³	- m³	0 m³	97%		
		F	7,100 m³	800 m³	- m³	-500 m³	11%		
		J	6,300 m³	5,700 m³	- m³	0 m³	90%		
		N	9,700 m³	6,700 m³	- m³	-300 m³	69%		
		O	44,100 m³	35,600 m³	- m³	-1,600 m³	81%		
		P1	62,700 m³	42,900 m³	- m³	-500 m³	68%		
		U	800 m³	700 m³	- m³	0 m³	100%		
		V	6,000 m³	5,600 m³	- m³	0 m³	93%		
		AA	58,000 m³	44,100 m³	40,600 m³	+200 m³	76%		
		BB	44,800 m³	36,900 m³	2,900 m³	-100 m³	82%		
		CC	18,800 m³	18,800 m³	- m³	+600 m³	100%		
		DD	10,800 m³	2,200 m³	- m³	-300 m³	21%		
		FF1	12,400 m³	0 m³	- m³	0 m³	0%		
		FF2	13,100 m³	0 m³	- m³	0 m³	0%		
		d	1,900 m³	1,600 m³	- m³	0 m³	85%		
		e	6,700 m³	4,600 m³	- m³	-200 m³	69%		
		k	9,500 m³	5,300 m³	- m³	0 m³	56%		
		l	7,200 m³	7,200 m³	- m³	0 m³	100%		
		G※3	40,000 m³	22,300 m³	10,100 m³	-900 m³	56%		
		H※3	43,000 m³	7,800 m³	3,400 m³	+1,500 m³	18%		
		M※3	45,000 m³	6,300 m³	6,300 m³	+100 m³	14%		
	シート養生(0.1～1mSv/h)	E1	16,000 m³	3,100 m³	- m³	微減 m³	19%	22,400 / 55,300 41%	・主な増減理由 屋外一時保管解消に向けた移動（エリアE1） 屋外一時保管解消に向けた移動（エリアP2） 屋外一時保管解消に向けた移動（エリアW） エリア整理のための移動（エリアX）
		P2	6,700 m³	800 m³	- m³	-100 m³	12%		
		W	11,600 m³	4,300 m³	- m³	微減 m³	37%		
		X	16,600 m³	10,400 m³	- m³	+300 m³	63%		
		m	4,400 m³	3,700 m³	- m³	0 m³	85%		
	覆土式一時保管施設、容器(1～30mSv/h)	E2※2	1,200 m³	400 m³	- m³	0 m³	36%	12,300 / 17,200 72%	
		L	16,000 m³	11,900 m³	- m³	0 m³	74%		
	固体廃棄物貯蔵庫※2		133,500 m³	75,000 m³	- m³	+500 m³	56%	75,000 / 133,500 56%	・主な増減理由 屋外一時保管解消に向けた移動
	合計		614,500 m³	433,800 m³	87,500 m³	-1,700 m³	71%		
伐採木	屋外集積(幹・根・枝・葉)	G※3	40,000 m³	0 m³	- m³	0 m³	0%	21,100 / 134,000 16%	・主な増減理由 伐採木と土壌に分別したことによる減（エリアM） 増設雑固体廃棄物焼却設備による焼却（エリアM）
		H※3	43,000 m³	0 m³	- m³	0 m³	0%		
		M※3	45,000 m³	19,000 m³	- m³	-5,100 m³	42%		
		V	6,000 m³	2,100 m³	- m³	0 m³	35%		
	一時保管槽(枝・葉)	G	29,700 m³	26,000 m³	- m³	-200 m³	88%	37,100 / 41,600 89%	・主な増減理由 増設雑固体廃棄物焼却設備による焼却（エリアG）
		T	11,900 m³	11,100 m³	- m³	0 m³	94%		
	合計		175,600 m³	58,200 m³	- m³	-5,300 m³	33%		
使用済保護衣等※3		屋外集積	25,300 m³	8,400 m³	- m³	-1,000 m³	33%		・主な増減理由 既設雑固体廃棄物焼却設備による焼却
放射性固体廃棄物（焼却灰等）※4		固体廃棄物貯蔵庫	63,700 m³	38,800 m³	- m³	+100 m³	61%		・主な増減理由 焼却灰

※1　端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。また、50m³未満の保管量を微量、50m³未満の増減を微増・微減と示している。
※2　水処理二次廃棄物（小型フィルタ等）を含む。
※3　エリアAA、エリアk、エリアlは、使用済保護衣等の保管も行うが、主に瓦礫類を保管するため、使用済保護衣等の保管容量からは除いている。
　　エリアG、エリアH、エリアMは、瓦礫類及び使用済保護衣等の保管も行うが、主に伐採木を保管するため、瓦礫類の合計の保管容量と使用済保護衣等の保管容量からは除いている。
　　なお、上記エリアの合算した保管量が保管容量を超えていないことを確認している。
※4　ドラム缶1本を0.2m³、ボックスコンテナ1個を0.8m³として換算している。

水処理二次廃棄物の管理状況(2026.11.5時点)

東京電力ホールディングス株式会社
放射性廃棄物処理・処分
2026/11/26

分類	保管場所	種類	保管量		前回集約からの増減		保管量 / 保管容量 割合	トピックス
水処理二次廃棄物	使用済吸着塔保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	779	本	0	本	6,096 / 6,884 89%	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	269	本	0	本		
		第三セシウム吸着装置使用済ベッセル	33	本	0	本		
		多核種除去設備等保管容器	4,657	基	+19	基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	90	本	0	本		
		多核種除去設備処理カラム	17	塔	0	塔		
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	251	本	+1	本		
	廃スラッジ貯蔵施設	廃スラッジ	518	m^3	0	m^3	518 / 700 74%	
	濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,409	m^3	-2	m^3	9,409 / 10,300 91%	・タンク水位の変動は、計器精度±１％の誤差範囲内(現場パトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量： 9,309 m^3 ・タンク底部～水位計の保管量(DS)： 約 100 m^3

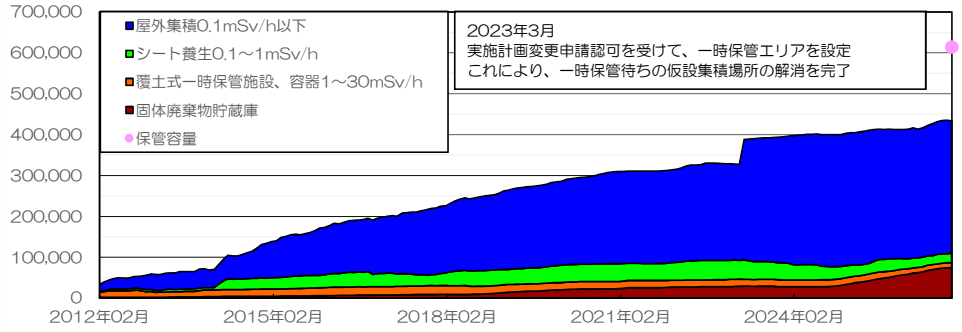
福島第一原子力発電所　固体廃棄物等保管エリアの構内配置図

東京電力ホールディングス株式会社
放射性廃棄物処理・処分
2026/11/26

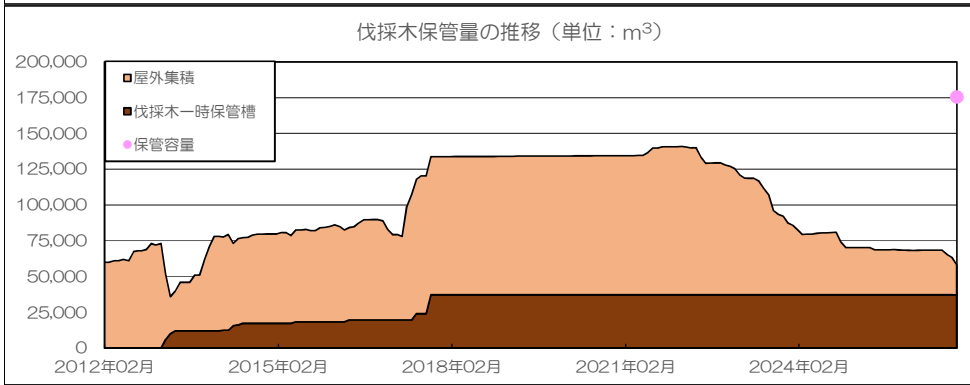


瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2026.10.31時点)

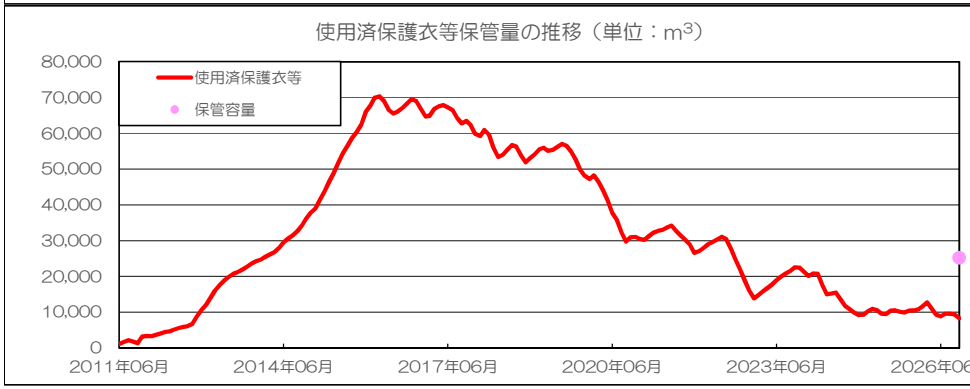
瓦礫類保管量の推移（単位：m³）



伐採木保管量の推移（単位：m³）

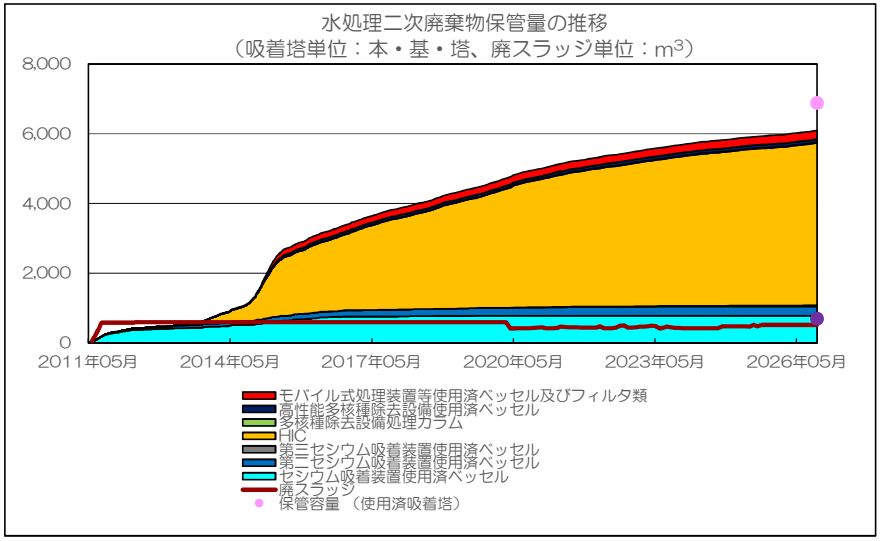


使用済保護衣等保管量の推移（単位：m³）



水処理二次廃棄物の管理状況(2026.11.5時点)

水処理二次廃棄物保管量の推移
（吸着塔単位：本・基・塔、廃スラッジ単位：m³）



濃縮廃液保管量の推移（単位：m³）

